

## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

### 1. 基本情報

ふりがな	つかだ よしみつ			
氏名	塚田 佳満			
所属	NPO法人 未来の担い手支援機構			
役職	専務理事			
活動エリア	全国			
連絡先	住所	〒	150-0001	
	電話番号			
	メールアドレス	npo.miraite (@) gmail.com (@)は@に置き換えてください。		
キャッチコピー	地域づくり＝若者活躍の場づくり×ビジネス創出			
自己PR	20年以上のマーケティング経験を生かし、新規事業・地域開発プロジェクトマネジメントの専門家です。地域づくりと次世代育成を軸に活動しています。農業高校等と連携した地域活性化プロジェクトをきっかけに「地域づくりは次世代育成すること」と気づき、データ活用とビジネス創出により地方を元気にする取り組みを推進しています。次世代育成と地域発の新規ビジネスを創出する地域の持続性開発にお力になれるます。お気軽にお声掛けください。			
関連ホームページ	名称		アドレス	
	NPO未来の担い手支援機構 ホームページ		<a href="https://www.miraite.net/">https://www.miraite.net/</a>	
	総務省 地域人材ネット（地域力創造アドバイザー）		<a href="https://www.soumu.go.jp/main_content/000542593.pdf">https://www.soumu.go.jp/main_content/000542593.pdf</a>	
	東京観光財団 観光まちづくりアドバイザー		<a href="https://www.tokyo-adviser.jp/?s=%E5%A1%9A%E7%94%B0">https://www.tokyo-adviser.jp/?s=%E5%A1%9A%E7%94%B0</a>	

### 2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	千葉県船橋市出身
	◆平成2年 法政大学経済学部卒、株式会社ヤラカス館本店入社
	◆平成7年（株）ダイレクトマーケティンググループ入社（専務取締役にて退任）
	◆平成24年 株式会社DMGフォース設立、代表取締役就任
	◆平成25～30年度 国立大学法人電気通信大学 先端工学専攻 非常勤講師
	◆平成27年度 総務省 地域力創造アドバイザー 着任
	◆平成29年度 全国農業高等学校長協会 地域連携相談窓口 着任
	◆平成29年度 経済産業省「未来の教室」とEdTech研究会 専門委員
	◆平成30年度 神奈川県産業教育審議会委員 着任
	◆令和2年度 NPO法人PCM TOKYO 理事 就任
◆令和3年度 東京観光財団 観光まちづくりアドバイザー 着任	
◆令和3年度 観光庁「世界水準のDMO形成促進事業」外部専門人材 登録	
◆令和3年度 NPO法人未来の担い手支援機構 専務理事 就任	

### 3. 取組分野

観光	(
移住・定住・関係人口	(
農林水産業	(地域資源を活用した商品開発及び販路開拓支援、就農支援
起業支援	(教育機関・専門高校連携による次世代育成と地域発新規ビジネス創出支援、PCM手法を活用した事業計画策定支援
まちなか再生	(
集落再生	(
環境	( 脱炭素・再生エネルギー導入、ソーラーシェアリング、営農型発電
その他	(

<b>4. ふるさと財団での実績</b>	
外部専門家 (活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2024年度 宮城県丸森町 閉校した小学校を活用した新しい農業×DX人材拠点モデル事業</li> <li>◆2020年～21年度 群馬県中之条町 中之条農業公園構想を活用した農業担い手就農就労型</li> <li>◆2015年度 青森県五所川原市 就農就労型6次化事業から農産業への醸成事業</li> <li>◆2014年度 青森県五所川原市 「五所川原市・就農就労型6次化事業」農業高校と取り組む地域活性化</li> </ul>
<b>5. 取組内容・実績</b>	
取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1) 事業名 : 平成26年度 五所川原市・就農就労型6次化事業</p> <p>(2) 対象地 : 青森県 五所川原市</p> <p>(3) 事業目的 : 若者の就業及び就農者受け入れ地域事業の創出</p> <p>(4) 事業内容 : 市が保有するりんごの新品種(身の赤い機能性特徴を持つ)の知財を生かした新規事業の事業化。市内の農業高校を中心とした地域の鉄道・青果事業など事業者による地域事業会社の設立。事業離陸期のサポートを実施。</p> <p>(5) 事業による成果 : 市の農業センターの民間への業務移管、新品種の育苗・生産・高付加価値の最終商品の開発体制が構築された。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1) 事業名 : 令和2年度 中之条町・農業公園構想を活用した農業担い手就農就労型</p> <p>(2) 対象地 : 群馬県中之条町</p> <p>(3) 事業目的 : 地域農業の持続的発展と次世代担い手育成の仕組みづくり。</p> <p>(4) 事業内容 : 地域生産者及び観光や行政を含めた定期的な交流組織づくり、ワークショップやオンライン研修による人材育成、地域内外の若者の参画促進、コロナ対策マニュアル作成と地域イベント実施、商品の開発・試験販売の実施。</p> <p>(5) 事業による成果 : 地域生産者グループ(40代)が主体的な地域づくりの中核担い手として確立。NPO組織登録を実現。オンライン研修会で40名超の参加。若者(10代、20代)の地域参画が増加し、一人が地域おこし協力隊希望者となる。オンラインでの国際交流を実現。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1) 事業名 : 経済産業省「未来の教室」実証事業Ⅱ産業界と連携したSTEM/STEAM(教科横断)プログラム「農業高校で取り込むロボティクスとIoT/IPM体験プログラム」</p> <p>(2) 対象地 : 全国(全国農業系高校:6校にて実施)</p> <p>(3) 事業目的 : 農業高校における次世代型農業人材の育成と、産業界との連携による新たな教育モデルの構築。</p> <p>(4) 事業内容 : 北海道、旭川農業高校をはじめ、栃木県、東京都、広島県、宮崎県、鹿児島県の農業高校で、3ヶ月で農業ICTや先端技術知り、地域との連携を学ぶSTEAMプログラムを2種実施し、100名以上の生徒に対しプログラムを実施。また農業高校の指導団体と産業界をつなぐプラットフォームの構築。最新技術を学ぶカリキュラム開発により、農業高校生の技術習得と地域での活躍の場の創出。産学連携協定締結により継続的な人材育成の仕組みを確立する活動を実施した。</p> <p>(5) 事業による成果 : 経済産業省「未来の教室実証事業」において、農業高校でのロボティクスとIoT/IPM体験プログラムを開発・実施。産業界と農業高校の連携体制を構築し、実証事業を推進。NTTグループ他との産業界との連携協定締結を実現。全国の農業系高校365校の支援体制を整備。地域の農業関連事業者との連携体制の構築。農業系高校生に先端の農業ICT技術の理解、地域での活用などに関心が高まった。</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1) 事業名 : 観光庁 令和2年度「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業『松田山耕作放棄地・みかん園を活用した「オンライン×農業・再生エネルギー・グローバル」体験型スターディー ツアー事業』</p> <p>(2) 対象地 : 神奈川県 松田町</p> <p>(3) 事業目的 : 地域の農地・耕作放棄地を活用した交流人口創出・観光体験型農業による新たなビジネス創出</p> <p>(4) 事業内容 : 昭和で観光地と栄えたみかん山の「松田山」は、獣害や農業従事者の高齢化など中山間地の課題があり、地域活性化が課題となっていたことから、社会課題研究のフィールドとして、大学や教育機関の実習の場、また近郊都市からのみかん収穫体験などを組み合わせた滞在型プログラムを開発するため、オンラインによる地域意見交換会、現地体験会(日帰り、1泊2日など)の実施を、幼児を持つ家族、大学生などさまざまな対象者向けに交流人口から関係人口創出を踏まえ、観光プログラムを実施した。</p> <p>(5) 事業による成果 : 地域の運営会社がプログラムの運営などをきっかけに地域イベントの開催など持続的な体験プログラムが実施されている。また、本事業をきっかけに地位この農業高校と、事業者の連携をきっかけに、商品開発などの課題取り組みのきっかけが生まれている。</p>
	※上記以外の取組内容・実績令和6年度 福島県西会津町 総務省 子ども農山漁村交流プロジェクト 「農閑期の農村体験プログラム